

施設見学会

岩見沢市／中間処理施設、最終処分場浸出水処理施設

1. はじめに

平成 27 年度の施設見学会は、企画運営委員会、技術委員会共に、北海道岩見沢市の中間処理施設（焼却施設、リサイクル施設）、及び最終処分場浸出水処理施設を見学しました。施設見学会の概況について報告します。

2. 視察概要

1) 視察日程：

平成 27 年 7 月 23 日（企画運営委員会）

平成 27 年 9 月 7 日（技術委員会）

2) 参加者：

14 名（企画運営委員会）

21 名（技術委員会）

3) 視察先：岩見沢市中間処理施設、最終処分場浸出水処理施設（北海道岩見沢市東山町 297 番地）

3. 施設概要

1) 中間処理施設

<焼却施設>

施設規模：100t/日（50t/24h × 2 炉）

施工会社：荏原環境プラント（株）

工期：平成 24 年 12 月～平成 27 年 3 月

形式：全連続燃焼式ストーカ炉（エバラ HPCC21 型ストーカ）

廃熱ボイラ：過熱器付自然循環式水管ボイラ（蒸気条件：320℃ × 3.0MPa）

排ガス処理設備：減温塔、集じん装置

余熱利用（蒸気タービン発電設備、発電量最大 1,200kW）

<リサイクル施設>

施工会社：荏原環境プラント（株）

破碎選別ライン（不燃・大型ごみ）15t/5h

資源化ライン

缶処理ライン 1.5t/5h

びん処理ライン 2.6t/5h

ペットボトル処理ライン 1.1t/5h

プラスチック処理ライン 4.7t/5h（既設より移設）

2) 最終処分場浸出水処理施設



写真 岩見沢市中間処理施設の外觀

施設規模：70m³/日

施工会社：水 ing（株）

工期：平成 24 年 6 月～平成 27 年 3 月

水処理：前処理（Ca 除去）、生物処理（脱窒）、凝沈、砂ろ過＋活性炭

汚泥処理：脱水（遠心脱水）

中間処理施設の施設外觀を写真に示す。

4. 施設運営状況

平成 27 年 3 月末の竣工後、4 月からの運営開始に合わせて、岩見沢市は総合評価一般競争入札方式により「新ごみ処分場長期包括的管理運営事業」を発注し、審査の結果、荏原環境プラントが受託している。業務範囲は、岩見沢市、美唄市、月形町から搬入される一般廃棄物を処理する中間処理施設（焼却施設、リサイクル施設）及び最終処分場浸出水処理施設の運転・維持管理、最終処分場の搬入・埋め立て作業等の管理業務である。施設見学の際にも、安定した運転が行われていることを確認した。事業期間は平成 27 年 4 月から平成 47 年 3 月までの 20 年間である。

5. 施設見学

1 炉 50t/日と小規模施設で、排水クローズドの条件がありながら発電を行うなど、新しい時代の焼却施設である。最新式のストーカ技術を組み込んだ環境負荷の低い施設であり、ごみ焼却廃熱が

